

## 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139611

車両情報

ホンダ N WGN

JH1/JH2系

1/5ページ

Type N.L.

平成25年11月～

① プッシュスタート&amp;セキュリティアラーム付き車のみ

Opt.

◎カバー類の取り外しで運転席側カバーは、2/5ページを参照。ヒューズBOXの外し方は、3/5ページを参照して必ず手順のとおりに行ってください。

## 重要！

- ◎ヒューズBOXを外す作業の前に、必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外してください。
- ・ヒューズBOX内にはECUがあるため、バッテリーを外さずにカプラの抜き差しを行うと、ECUが故障する恐れがあります。
  - ・バッテリーの接続は、必ず全てのカプラ接続作業を完了した後で行ってください。

## ① 注意事項：イモビライザーについて

- ・エンジンイモビライザーが、全車標準装着されています。
- ・プッシュスタート無し車には、エンジンスターターの取り付けができません。（プッシュスタート付き車のみ、取り付けができます。）
- ・エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、H-11イモビユニット・VH201Eハーネスセット（品番：EP152）を使用します。

## ① 注意事項：ディーラーオプションについて

- ・ディーラーオプション用品との併用はできません。
- …用品用のオプションカプラをエンジンスターター側でも使用するため、車両側の動きが正常に動かなくなります。

## ① 使用上の注意事項

- ① ドアロック／アンロックについて。
  - ・エンジンスターターでアイドリング中は、車両のスマートキー操作により、ドアロック／アンロックが作動します。（キーレスエントリーのボタンでは作動しません）
  - ・エンジンスターターのリモコン（ドアロック／アンロック機能付きモデル）によるドアロック／アンロックはアイドリング中にも作動します。リモコンの操作に連動して、車両のハザードが点滅します。（ドアロック時：1回点滅、アンロック時：2回点滅）
- ② ドアタイマー機能は使用できません。
  - ・ドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止まるようにしてください。または、リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてからドアを開けてください。
- ③ アフターアイドリング機能は使用できません。
  - ・絶対にアフターアイドリング機能を使用しないでください。
  - ・機能を「使用する」に設定された場合、走行してエンジン停止後に車両のACC電源がOFFしないためバッテリーが上がります。
- ④ クランキング時間の設定機能は使用できません。
  - ・この機能の設定操作は行わないでください。設定の必要性もありません。

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒼ表示です。

BOX No. 139611

車両情報

ホンダ N WGN

JH1/JH2系

2/5ページ

Type N.L.

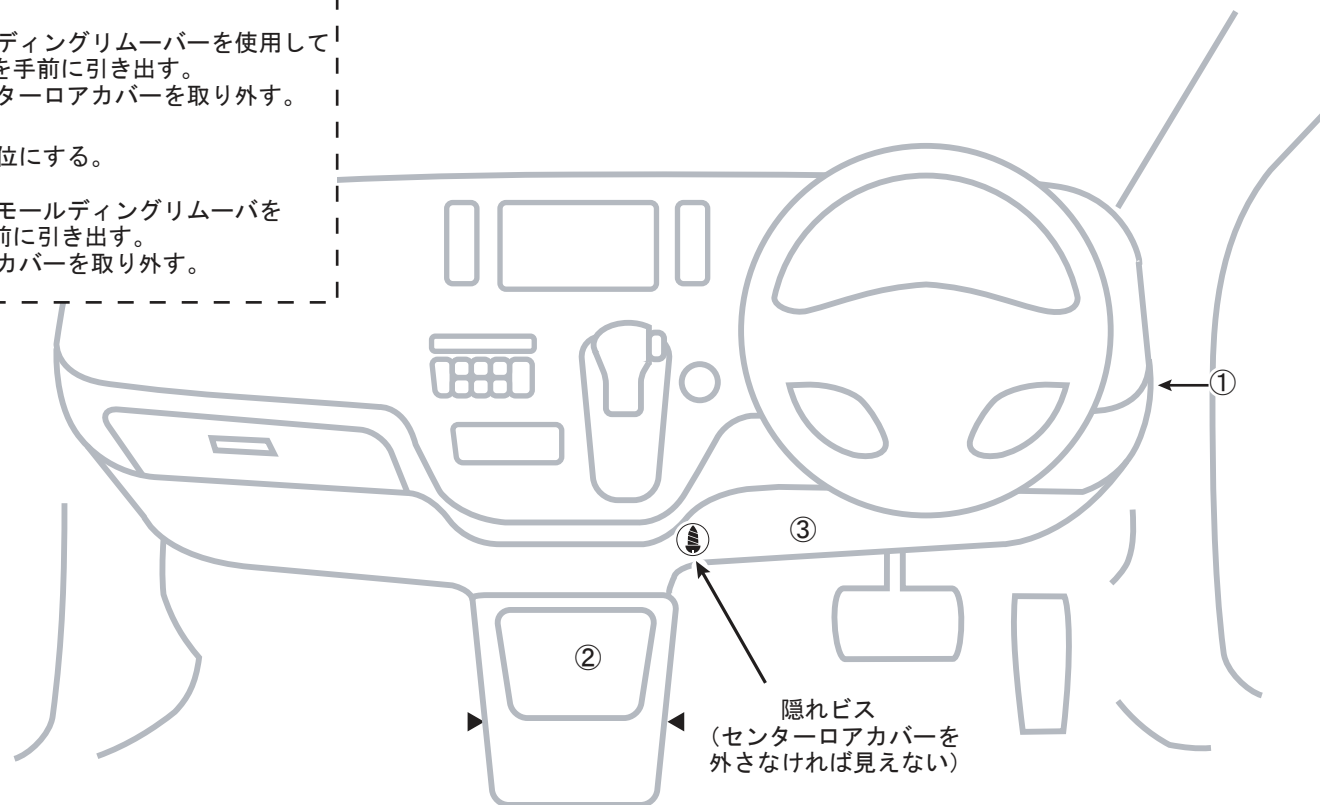
平成25年11月～

① プッシュスタート&セキュリティアラーム付き車のみ

Opt.

## ① カバー類の外し方

- ① 右サイドリッドを外す。
  - ・外側に引きながら、モールディングリムーバーを使用してツメ（6箇所）を外す。
- ② センターロアカバーを外す。
  - ・左右のクリップ（▶マーク各1個）を外し、モールディングリムーバーを使用して上側のツメ（7箇所）を外し、センターロアカバーを手前に引き出す。
  - ・装備に応じて、スイッチカブラの接続を外し、センターロアカバーを取り外す。
- ③ ロアカバーを外す。
  - ・ロックレバーを解除し、コラムのチルト位置を最上位にする。
  - ・左側奥のネジ（1本）を外す。
  - ・ロアカバーの右側から順番に、手前側に引きながらモールディングリムーバを使用してツメ（10箇所）を外し、ロアカバーを手前に引き出す。
  - ・装備に応じて、スイッチカブラの接続を外し、ロアカバーを取り外す。



止めネジ等



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139611

車両情報

ホンダ N WGN

JH1/JH2系

3/5ページ

Type N.L.

平成25年11月～

① プッシュスタート&セキュリティアラーム付き車のみ

Opt.

## ① ヒューズBOXの外し方

専用ハーネスVH201Eの白色4Pコネクタは、ヒューズBOX裏側のカプラへの割込接続となります。接続作業を行うためには、ヒューズBOXを手前下側に引き出して、作業スペースの確保が必要です。

- ① 車両ボルト（2本）と、右側のツメ（★）を外す。
- ② 必要に応じて、ヒューズBOX表側とヒューズBOX周辺の車両カプラの接続を外す。
- ③ ヒューズBOXを手前側に引き出す。

## ① 専用ハーネス（VH201E）の取り付け方法

- ① 白色4Pコネクタを割込接続する。
- ② 白色24Pコネクタを割込接続する。
- ③ 白色2Pコネクタを割込接続する。
- ④ 白色6Pコネクタを接続する。
- ⑤ アース（黒色）を車体アースボルトに固定する。…下記の■マークを参考にして、いずれかの車両側アースポイントへ、固定してください。（アース線の車体アースへの固定が不完全で接触不良等を起こすと、エンジンスターターによる始動ができなくなり、車両側の動作が不安定になる場合があります。）
- ⑥ 白色7Pコネクタをリレーユニット（受信機）のCN1に接続する。
- ⑦ 白色4Pコネクタをリレーユニット（受信機）の4Pカプラに接続する。
- ⑧ 白色14PコネクタをH-11イモビユニットのカプラに接続する。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。（4/5ページ参照）

### オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

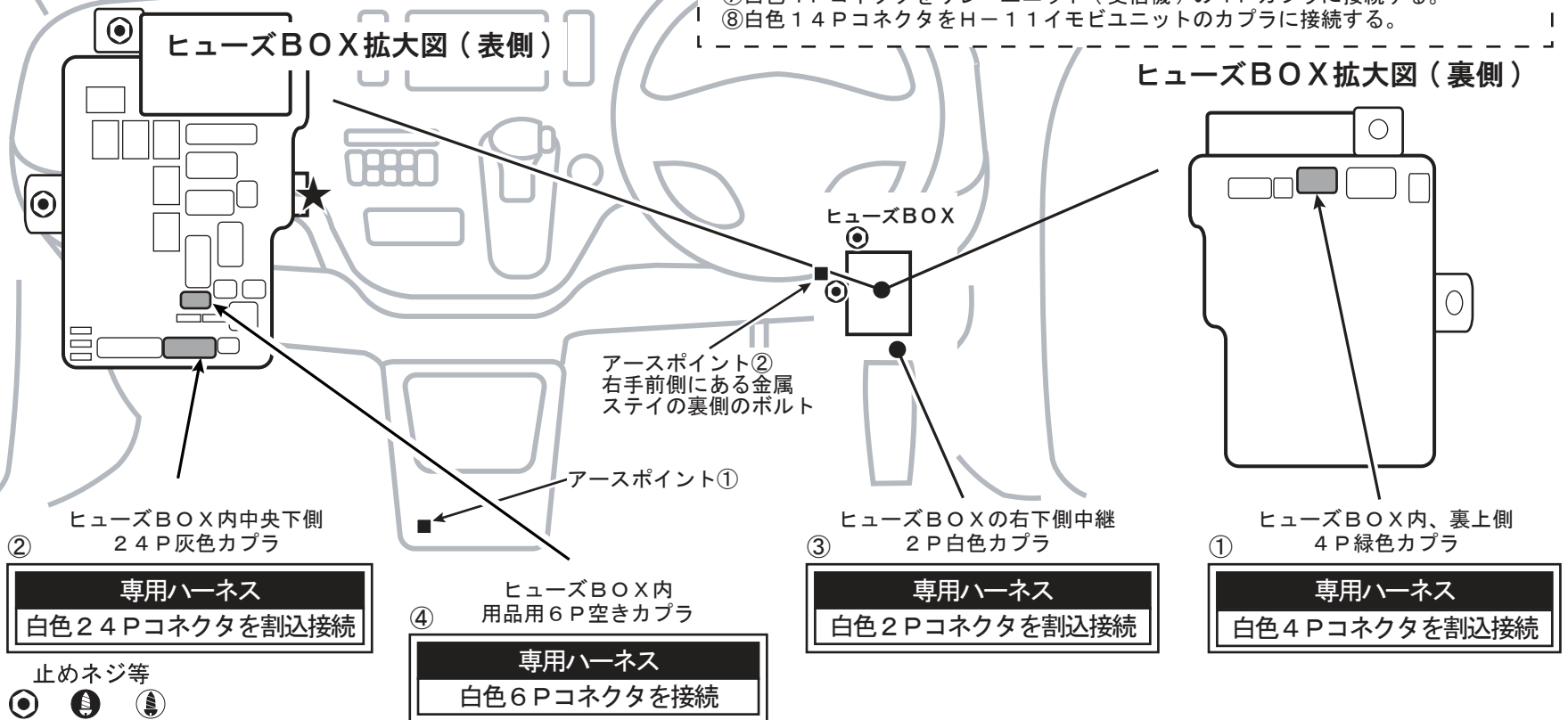
配線内容（専用ハーネス）

車両カプラ形状

止めネジ等  
ナット ビス 隠れビス

ヒューズBOX拡大図（表側）

ヒューズBOX拡大図（裏側）



② ヒューズBOX内中央下側  
24P灰色カプラ

専用ハーネス  
白色24Pコネクタを割込接続

④ ヒューズBOX内  
用品用6P空きカプラ

専用ハーネス  
白色6Pコネクタを接続

③ ヒューズBOXの右下側中継  
2P白色カプラ

専用ハーネス  
白色2Pコネクタを割込接続

① ヒューズBOX内、裏上側  
4P緑色カプラ

専用ハーネス  
白色4Pコネクタを割込接続

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139611

車両情報

ホンダ N WGN

JH1/JH2系

4/5ページ

Type N.L.

平成25年11月～

❗️ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き車のみ

Opt.

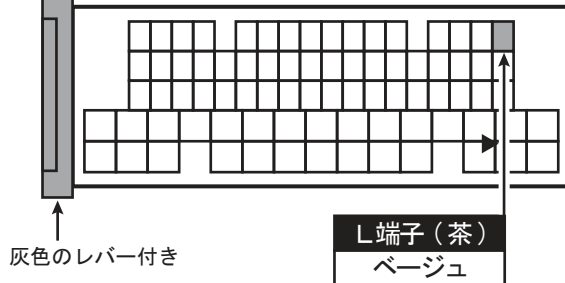
## 重要!

### Ⓛ端子の配線について

- ❗️ NAエンジン車(アイドリングストップ装置付き車)は必ずⓁ端子の配線をしてください。Ⓛ端子を配線しないと、エンジン始動の検出が正常にできません。また、ターボ車もエンジン始動の検出が不安定な場合は、Ⓛ端子を接続してください。
- ❗️ Ⓛ端子の接続先は、エンジンルーム内にあります。ハーネスセット(商品コード:EP152)に付属の延長ケーブル(2.5m)を使用して、配線をしてください。

### エンジンルーム内

エンジンルーム内から見て右側(バッテリーの奥)  
エンジンコントロールECU左側の  
80P黒色カプラ



- ❗️ カプラ内にベージュ配線は2本あるので注意してください。接続後、電圧を確認してください。(IG ON時: 0V、エンジン始動後: 12V)

- ❗️ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

### オートマチック車認識設定

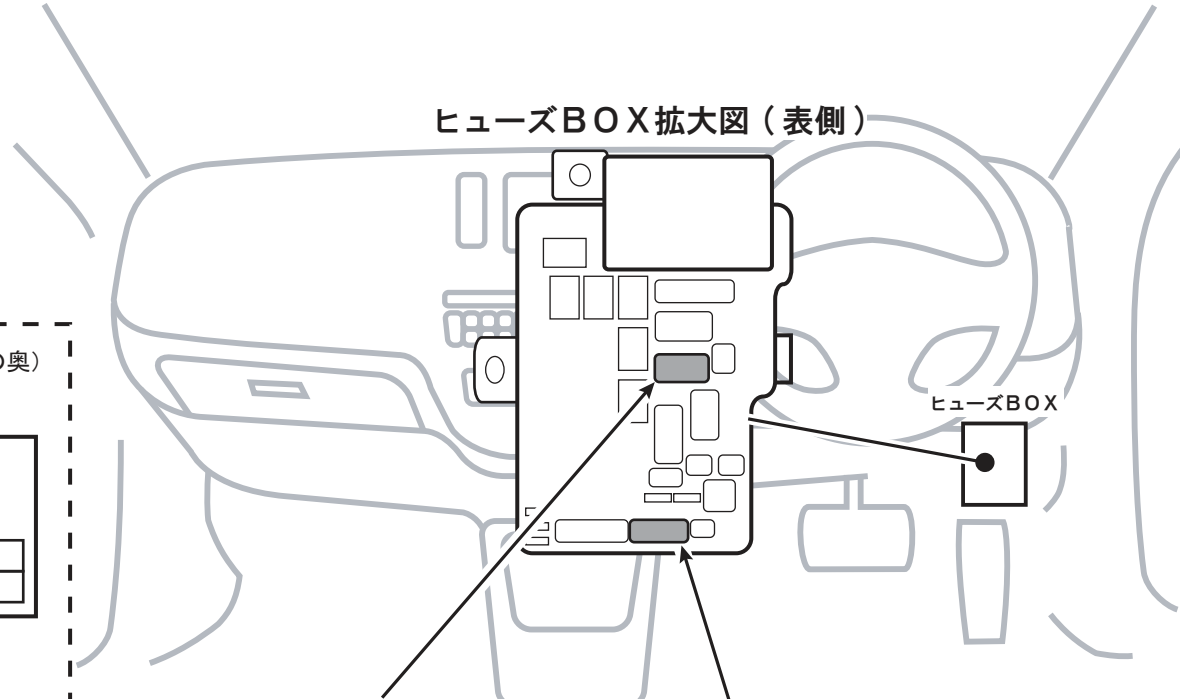
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
  - ② リモコンでSTOPを押す。
  - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
  - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
  - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

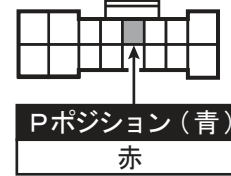
配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

### ヒューズBOX拡大図(表側)

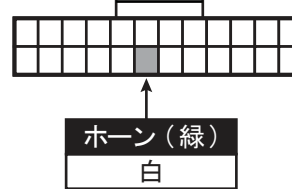


ヒューズBOX内右側  
16P緑色カプラ



- ❗️ 必ず配線してください。(通常時: 0V、フットブレーキを踏んだとき: 12V)

ヒューズBOX内中央下側  
24P灰色カプラ



- ❗️ 機能付き機種のみ配線

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒺ表示です。

BOX No. 139611

車両情報

ホンダ N WGN

JH1/JH2系

5/5ページ

Type N.L.

平成25年11月～

① プッシュスタート&セキュリティアラーム付き車のみ

Opt.

## ① 注意事項：CN2配線の接続について

・取り付けするエンジンスターターがドアロック/アンロック機能付きの場合は、エンジンスターターのCN2ハーネスのロック（灰色）、アンロック（黄色）は、車両側配線には接続せずに、必ず専用ハーネス（14P白色カブラのハーネスにテーピングされている短い灰色線と黄色線）に接続してください。

① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア検出ユニットⅡ（商品コード：EP131）を使用して、CN2のドア検出配線（紫）は、必ず下記の4箇所又は5箇所に分岐接続してください。年式と装備により接続先・配線色が異なります。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

## オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
  - ② リモコンでSTOPを押す。
  - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
  - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
  - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

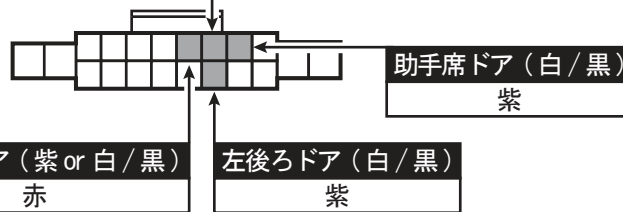
配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

① ドア開閉信号は、年式と装備により接続先・配線色が異なります

右後ろドア・バックドア（白/黒）  
紫

ヒューズBOX内左下側  
20P灰色カブラ

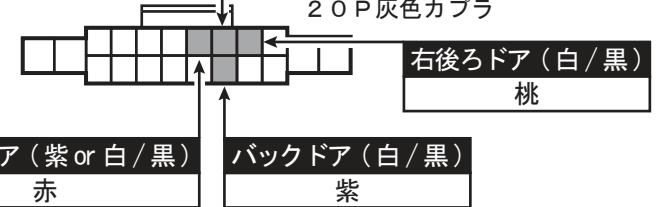


運転席ドア（紫 or 白/黒）  
赤

左後ろドア（白/黒）  
紫

左後ろドア（白/黒）  
白

ヒューズBOX内左下側  
20P灰色カブラ



運転席ドア（紫 or 白/黒）  
赤

バックドア（白/黒）  
紫

ヒューズBOXの下側  
8P白色カブラ



助手席ドア（白/黒）  
紫

右後ろドア（白/黒）  
桃

① ドア検出ユニットを使用しない場合は、CN2ハーネスの紫色線を運転席ドア配線に接続してください。（運転席ドアの開閉のみ検出）

① ドア検出ユニットを使用しない場合は、CN2ハーネスの紫色線を運転席ドア配線に接続してください。（運転席ドアの開閉のみ検出）